

高放射性廃液貯蔵場(HAW)及び  
ガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟の  
安全対策に係る性能維持施設の追加について

【概要】

- 高放射性廃液貯蔵場(HAW)及びガラス固化技術開発施設(TVF)ガラス固化技術開発棟の安全対策として申請した
    - ・ 令和2年5月29日(令和2年7月10日認可)
    - ・ 令和2年8月7日(令和2年9月25日認可)
    - ・ 令和2年10月30日(令和3年1月14日認可)
    - ・ 令和3年2月10日(令和3年4月27日認可)
- の変更認可申請及び次回変更認可申請において、新たに設けるとした施設及び位置づけを改めた施設(以下、安全対策施設と言う。)について、廃止措置期間中に性能を維持すべき施設を明確にし、当該施設に対して「要求される機能」、「性能」、「維持すべき期間」について「添付書類 六 性能維持施設及びその性能並びにその性能を維持すべき期間に関する説明書」の記載の更新を行う。
- 事故対処設備については可搬型設備の組合せが複雑であるため、令和3年2月10日(令和3年4月27日認可)の変更認可申請の内容に基づき事故対処時の概略系統構成を整理した上で漏れの無いように整理を行った。
  - 性能維持施設として位置付けた施設の運転、保守及び検査については、当該施設の供用開始時期に合わせて保安規定の変更及び設備保全整理表等下位文書の整備を行い、性能の維持のための保全活動を開始する。

令和3年5月18日

国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

## 高放射性廃液貯蔵場（HAW）及びガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟の 安全対策に係る性能維持施設について

### 1. はじめに

高放射性廃液貯蔵場（HAW）及びガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟の安全対策として申請した令和2年5月29日（令和2年7月10日認可）、令和2年8月7日（令和2年9月25日認可）、令和2年10月30日（令和3年1月14日認可）、令和3年2月10日（令和3年4月27日認可令和3年4月27日認可）の変更認可申請及び本変更認可申請（次回申請）において新たに設けるとした施設及び過去に緊急安全対策として配備したが改めて事故対処設備として位置づけを改めた施設（以下、安全対策施設という。）について、廃止措置期間中に性能を維持すべき施設（性能維持施設）として明確化し、当該施設に対して「要求される機能」、「性能」、「維持すべき期間」について「添付書類 六 性能維持施設及びその性能並びにその性能を維持すべき期間に関する説明書」の記載の更新を行う。

性能維持施設として位置付けた施設の運転、保守及び検査については、当該施設の供用開始時期に合わせて保安規定の変更及び設備保全整理表等下位文書の整備を行い、性能の維持のための保全活動を開始する。

なお、今回の廃止措置計画の変更申請における性能維持施設の変更は、上述の通り新たに設ける安全対策の設備を追加するものであるが、今後、本格的に廃止措置が進展し、施設におけるリスクの低減が確認できた段階で、性能の維持を必要とされなくなった設備の解除等を行う。性能維持施設の解除の条件、対象設備、時期については、系統除染や設備解体等といったリスクの低減に結びつく廃止措置活動の計画の具体化を進める際に示していく。

### 2. 廃止措置計画の認可の審査に関する考え方における位置づけ

再処理施設の廃止措置期間中において性能を維持すべき施設の選定に当たっては、「廃止措置計画の認可の審査に関する考え方」に以下の記載があり、現認可申請書はこれを基としている。

#### 5 性能維持施設（再処理規則第19条の5第1項第5号）

- 性能維持施設が、事業の指定、設計及び工事の方法の認可等既往の許認可に基づく施設、廃止措置計画の認可を受ける前に施設定期検査及び施設定期自主検査の対象としていた施設並びに保安規定に基づき保守管理の対象としている設備類（緊急安全対策として整備したものを含む。）等から抽出され、定められていること。

施設定期検査及び施設定期自主検査の目的は、運転中における再処理施設の安全等に係る施設が技術基準を満足していること（事業指定で認可された施設の性能を維持していること）を確認することである。したがって、性能維持施設を抽出する母集団を運転段階において施設定期検査等の対象としていた施設群とするとき、廃止措置のある段階において、運転段階

と異なり安全上のハザードが無くなった場合、そのハザードに対応する施設の性能維持は求めなくてよいということである。例えば、発電炉では、燃料集合体の搬出完了後は燃料貯蔵プールの冷却施設の維持等は不要とされる。

### 3. 安全対策施設に係る性能維持施設の選定の考え方

再処理施設の性能維持施設の選定は図 1 に示すような概念で実施している。基本的に、当該施設が廃止措置段階のある期間の間（安全の確保及び廃止措置にその施設の機能が必要となる期間）、その施設の性能が維持基準規則の技術基準を満足している必要があるものを性能維持施設とする。

初回の廃止措置計画申請（平成 29 年 6 月 30 日）においては運転段階において施設定期検査及び施設定期自主検査の対象としていたものと緊急安全対策として整備したものを性能維持施設として指定した。

今回、新たに設置された安全対策施設についての性能維持施設の選定（図 1 の一点鎖線の囲みで示した部分）は以下の方針によるものとする。なお、既に申請書において性能維持施設に登録されている施設のうち、新たに要求される機能が追加または変更されるものについては、その内容を更新する。

- (1) 変更申請書における安全性の説明において、安全性の確保のためにその施設の機能を前提としたもののうち、性能維持のために保全活動（日常的な巡視・定期的な点検等）が必要とされるものを性能維持施設とする。

したがって、以下に示すように、性能の維持のために頻繁かつ定期的な保全活動（日常的な巡視・定期的な点検による機能維持状態の確認や保守作業）を必要としないものは除外する。

- A. 恒設設備のうち、静的な機能のみを持つもので、かつ使用環境の影響による劣化や経年劣化を受けにくく※、さらに設計寿命を保証するために頻繁な保全を要しないもの（貯槽、配管等）。

なお、事故対処に用いる仮設あるいは可搬型の設備については、静的な機能のみであっても、供用時に保管場所から運搬して組み立て等の作業を要するものは定期的な確認が必要なことから性能維持施設の対象とする。

※ 屋外にあって自然環境等による風化・劣化を受ける構造物（例：建家、浸水防止扉、津波漂流物防護柵）は性能維持施設の対象とする。なお、防火帯については構造上の特徴から「施設」に分類できないと考えたため性能維持施設とはしないが、火災防護計画においてその管理の方法について定め、適切な運用を行う。

- B. 資機材や予備品、消耗品に該当するもの。

- C. 電気事業法、消防法、高圧ガス保安法、建築基準法、労働安全衛生法、クレーン等安全規則等の一般の法令で検査が義務付けられているもの（管理の重複の排除）。これらの法令に基づいて検査を行う設備や、その他、自主的に検査を行うとした施設については「運転及び保守の管理規則」に基づいて定期的に検査を行う。

- (2) 上記で選定した性能維持施設毎に、「要求される機能」、「性能」、「維持すべき期間」を

以下の考え方に基づき明確化する。

要求される機能：当該施設の目的が「再処理施設の技術基準に関する規則」の「第二章 安全機能を有する施設」及び「第三章 重大事故等対処施設」のいずれの条項により要求される機能（表 1）であるかを示す。その際、上記条項には明記されていないものの個別の安全機能（冷却・崩壊熱除去等）に関わるものはその機能を記載する。

なお「再処理施設の技術基準に関する規則」の「重大事故等対処施設」は再処理施設廃止措置計画の「事故対処施設」で読み替える。

性能：当該施設に要求される機能の発現が、いかなる能力（機構又は構造・動作・状態・出力等）により実現されるものであるかを示す。なお、当該性能は点検等により確認可能（観測・測定可能）な指標を持つものとし、可能な限り客観的かつ定量的な指標とするものの、記載は文書の位置付けに応じて保安規定、施設管理実施計画・設備保全整理表、点検・検査要領書等の下位文書の順で詳細化する。

維持すべき期間：当該施設の目的に鑑みて、再処理施設の安全の確保のために、その性能維持施設の機能の提供が必要とされる期間とする。

廃止措置の段階を区切る明瞭な時点としては、貯蔵している使用済燃料の搬出の完了、貯蔵している高放射性廃液のガラス固化の完了、貯蔵している廃棄物の搬出の完了、管理区域の解除等とする。

#### 4. 事故対処設備の整理の方法

令和 3 年 2 月 10 日に申請した事故対処設備については事故対処のパターン（施設毎の未然防止対策①～③、遅延対策①及び②）に応じた可搬型設備の組合せが複雑であるため、下記の(1)～(4)に示す手順で、変更認可申請の内容に基づき事故対処時の概略系統構成を整理した上で漏れの無いように整理を行った。整理した概略系統構成図を参考図 1～14 に、事故対処のパターン毎の使用機器リストを参考表 1～13 に示す。

##### (1) 系統構成図の作成

廃止措置計画変更認可申請書（令和 3 年 2 月 10 日申請）の添四別紙 1-1「事故対処の有効性評価」の添四別紙 1-1-2～1-1-25 の記載内容に基づき、可搬型設備等を用いてそれぞれの対策を行う際の概略系統構成図を作成する（参考図 1～14）。

##### (2) 可搬型設備の固有番号の付番

対策毎の系統構成図の可搬型事故対処設備に固有番号を付番する。その際、対策間で同じ可搬型設備を用いる場合は、同じ固有番号にすることで共通機器であることを明確化する。

その上で対策毎に使用する可搬型設備のリストを作成する（参考表 1～13）。

##### (3) 対策間で変わらない計装・監視・通信設備の集約

可搬型の計装・放射線監視・通信設備についてはいずれの対策においても使用することから、これらは廃止措置計画変更認可申請書（令和 3 年 2 月 10 日申請）の添四別紙

1-1-32, 1-1-33, 1-1-35に基づき設備リストを作成する（(2)と同様に、複数の同型機がある場合はそれぞれに固有番号を付番して識別可能にする）。

(4) 全体の可搬型設備等の設備インベントリの集約

全ての対策の系統構成図と機器リストより、再処理施設で配備される可搬型設備のインベントリ（全設備リスト）を集約する（参考表 14）。

5. 安全対策施設に係る性能維持施設

3章及び4章に示した考え方に基づき選定した性能維持施設の追加変更分を、「要求される機能」、「性能」、「維持すべき期間」と合わせて表 2～表 17に示す。なお、今後廃止措置計画変更認可申請を行うことを計画している内部火災防護対策、溢水防護対策については、対策に必要な施設が具体化次第、同表と同様に整理し廃止措置計画に反映する。

また、当該性能維持施設についての保安規定の変更及び要領書等の下位文書の整備については、保全活動の開始となる当該性能維持施設の運用開始時期前を目処に行う。

性能維持施設については、今後も廃止措置の進捗と施設の状況に応じて見直しをおこなっていくこととする。

以上

表 1 維持基準規則に基づく「要求される機能」の分類項目

**第二章 安全機能を有する施設**

- 第四条 核燃料物質の臨界防止  
(第五条 安全機能を有する施設の地盤)
- 第六条 地震による損傷の防止
- 第七条 津波による損傷の防止
- 第八条 外部からの衝撃による損傷の防止
- 第九条 再処理施設への人の不法な侵入等の防止
- 第十条 閉じ込めの機能
- 第十一条 火災等による損傷の防止
- 第十二条 再処理施設内における溢水による損傷の防止
- 第十三条 再処理施設内における化学薬品の漏えいによる損傷の防止
- 第十四条 安全避難通路等  
(第十五条 安全上重要な施設)  
(第十六条 安全機能を有する施設)  
(第十七条 材料及び構造)
- 第十八条 搬送設備
- 第十九条 使用済燃料の貯蔵施設等
- 第二十条 計測制御系統施設
- 第二十一条 放射線管理施設
- 第二十二条 安全保護回路
- 第二十三条 制御室等
- 第二十四条 廃棄施設
- 第二十五条 保管廃棄施設
- 第二十六条 使用済燃料等による汚染の防止
- 第二十七条 遮蔽
- 第二十八条 換気設備
- 第二十九条 保安電源設備
- 第三十条 緊急時対策所
- 第三十一条 通信連絡設備

**第三章 重大事故等対処施設**

- (第三十二条 重大事故等対処施設の地盤)
- 第三十三条 地震による損傷の防止
- 第三十四条 津波による損傷の防止
- 第三十五条 火災等による損傷の防止
- 第三十六条 重大事故等対処設備  
(第三十七条 材料及び構造)
- 第三十八条 臨界事故の拡大を防止するための設備
- 第三十九条 冷却機能の喪失による蒸発乾固に対処するための設備
- 第四十条 放射線分解により発生する水素による爆発に対処するための設備
- 第四十一条 有機溶媒等による火災又は爆発に対処するための設備
- 第四十二条 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備
- 第四十三条 放射性物質の漏えいに対処するための設備
- 第四十四条 工場等外への放射性物質等の放出を抑制するための設備
- 第四十五条 重大事故等への対処に必要な水の供給設備
- 第四十六条 電源設備
- 第四十七条 計装設備
- 第四十八条 制御室
- 第四十九条 監視測定設備
- 第五十条 緊急時対策所
- 第五十一条 通信連絡を行うために必要な設備

表 2 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設，竜巻による損傷の防止）

設備名称等	要求される機能	性能	維持すべき期間
高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	防護板 HP-1 防護板 HP-2 防護板 HP-3 防護板 HP-4 防護板 HP-5 防護板 HP-6 防護板 HP-7 防護板 HP-8 防護板 HP-9 防護板 HP-10	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 竜巻による損傷の防止機能</li> <li>• 防護板等に有害な傷，損傷及び変形等がないこと。</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了まで。
	防護フード*	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防護扉等に有害な傷，損傷及び変形等がないこと。</li> </ul>	
	防護扉**	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防護フード等に有害な傷，損傷及び変形等がないこと。</li> </ul>	

\* 参考図 14 及び参考図 15 に設置場所を示す。

表 3 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設，竜巻による損傷の防止）

設備名称等	要求される機能	性能	維持すべき期間
ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 防護板※	防護板 TP-1 防護板 TP-2 防護板 TP-3 防護板 TP-4 防護板 TP-5 防護板 TP-6 防護板 TP-7 防護板 TP-8 防護板 TP-9 防護板 TP-10 防護板 TP-11 防護板 TP-12 防護板 TP-13 防護板 TP-14 防護板 TP-15 防護板 TP-16 防護板 TP-17 防護板 TP-18 防護板 TP-19 防護板 TP-20 防護板 TP-21 防護板 TP-22	<ul style="list-style-type: none"> <li>防護板等に有害な傷，損傷及び変形等がないこと。</li> <li>竜巻による損傷の防止機能</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了及びガラス固化体保管ピットに貯蔵しているガラス固化体の搬出完了（または崩壊熱による発熱量が低減し強制空冷が不要となる時期）まで。

※ 参考図 16 及び参考図 17 に設置場所を示す。



表 4 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設，竜巻による損傷の防止）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間
ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟	防護扉	防護扉 TD-1 防護扉 TD-2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竜巻による損傷の防止機能</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了及びびガラス固化体保管ピットに貯蔵していいるガラス固化体の搬出完了（または崩壊熱による発熱量が低減し強制空冷が不要となる時期）まで。
		防護フード TH-1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防護フード等に有害な傷，損傷及び変形等がないこと。</li> <li>・防護フード等に有害な傷，損傷及び変形等がないこと。</li> </ul>	
		防護フード TH-2		
		防護フード TH-3		
		防護フード TH-4		
		防護フード TH-5		
		防護フード TH-6		
		防護フード TH-7		
		防護フード TH-8		
		防護フード TH-9		
		防護フード TH-10		
		防護フード TH-11		
		防護フード TH-12		
		防護フード TH-13		
		防護フード TH-14		
		防護フード TH-15		
	防護フード TH-16			

※ 参考図 16 及び参考図 17 に設置場所を示す。

表 5 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設，津波による損傷の防止）

設備名称等	要求される機能	性能	維持すべき期間
高放射性廃液貯蔵場 (HAW) ・ ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 で共用	津波漂流物防護柵	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構築物の機能・性能に影響を与える有害なき裂, 変形などが無いこと。</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了及びガラス固化体保管ピットに貯蔵しているガラス固化体の搬出完了（または崩壊熱による発熱量が低減し強制空冷が不要となる時期）まで。
	津波漂流物防護柵（西側・引き波防護対策）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・構築物の機能・性能に影響を与える有害なき裂, 変形などが無いこと。</li> </ul>	
	屋外監視カメラ X-共・屋外監視カメラ-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	

表 6 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設、制御室等）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間	
ガラス固化技術開発施設 (TVF)	制御室換気用仮送風機	X-G-仮送風機-001	・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がなく、設備が正常に作動すること。	高放射性廃液のガラス固化完了及びガラス固化体保管ピットに貯蔵しているガラス固化体の搬出完了（または崩壊熱による発熱量が低減し強制空冷が不要となる時期）まで。
		X-G-仮送風機-002	・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がなく、設備が正常に作動すること。	
	制御室除熱用仮設置ボットクロー	X-G-仮送クロー-001	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。	
		X-G-フィルタ 1-1	・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がないこと。	
		X-G-フィルタ 1-2	・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がないこと。	
		X-G-フィルタ 1-3	・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がないこと。	
	フィルタユニット	X-G-フィルタ 1-4	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。	
		X-G-フィルタ 2	・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がないこと。	
	ガラス固化技術開発棟	仮送ダクト	・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がないこと。	
			・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がないこと。	
接続ダクト（吸込側）		・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がないこと。		
		・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がないこと。		
接続ダクト（吐出側）		・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。		
	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。			
	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。			
接続パネル	X-G-接続パネル-1	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。		
	X-G-接続パネル-2	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。		
	X-G-隔離弁-1	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。		
	X-G-隔離弁-2	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。		
	X-G-隔離弁-3	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。		
隔離弁	X-G-隔離弁-4	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。		
	X-G-隔離弁-5	・制御室の居住性維持機能	・員数及び外観に異常がないこと。		
環境用測定装置	X-G-環境用測定装置-001	・制御室の居住性維持機能	・外観に異常がないこと ・環境用測定装置の警報機能が測定対象成分の設定値以上で作動すること。		

表 7 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加，耐震裕度確保のための液量管理）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間	
高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	液位計 (高放射性廃液貯槽)	272LR31.1.1, LR32.1.1, LR33.1.1, LR34.1.1, LR35.1.1, LR36.1.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測制御系統施設 (測定機能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計器が正常に作動すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>系統除染が完了するまで。</li> </ul>
	密度計 (高放射性廃液貯槽)	272DR31, DR32, DR33, DR34, DR35, DR36			
ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟	液面計 (受入槽)	G11LIO±W-A+10.1	<ul style="list-style-type: none"> <li>計測制御系統施設 (測定機能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>計器が正常に作動すること。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>系統除染が完了するまで。</li> </ul>
	密度計 (受入槽)	G11DI10			
	液面計 (回収液槽)	G11LIO±W-A+20.1			
	密度計 (回収液槽)	G11DI20			
	液面計 (濃縮器)	G12LIO-10.1, LIO±A+10.2			
密度計 (濃縮器)	G12DI10				

表 8 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設，事故対処施設）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間		
高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	冷却塔	272H81 272H82	<ul style="list-style-type: none"> <li>崩壊熱除去機能</li> <li>事故対処機能（未然防止対策①）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	維持すべき期間	
	組立水槽	X-H・組立水槽-001～003	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（全対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がないこと</li> </ul>		
	消防ホース	X-H・消防ホース-001～091	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（全対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がないこと</li> </ul>		
	可搬型冷却設備	X-H・可搬型冷却設備-001 X-H・可搬型冷却設備-002	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>		
	可搬型冷却設備用発電機	X-H・可搬型冷却設備用発電機-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>		
	分岐管	X-H・分岐管（IN）-001 X-H・分岐管（OUT）-002	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②③）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がないこと</li> </ul>		
	切換えバルブ	X-H・切換えバルブ（IN）-001～006 X-H・切換えバルブ（OUT）-001～006	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②③）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がないこと</li> </ul>		
	二又分岐管	X-H・二又分岐管-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（遅延対策②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がないこと</li> </ul>		
						系統除染が完了するまで。

表 9 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設，事故対処施設）

設備名称等	要求される機能	性能	維持すべき期間	
高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	可搬型温度測定設備 X-H-可搬型温度測定設備-001A X-H-可搬型温度測定設備-001B X-H-可搬型温度測定設備-002A X-H-可搬型温度測定設備-002B X-H-可搬型温度測定設備-003A X-H-可搬型温度測定設備-003B X-H-可搬型温度測定設備-004A X-H-可搬型温度測定設備-004B X-H-可搬型温度測定設備-005A X-H-可搬型温度測定設備-005B X-H-可搬型温度測定設備-006 X-H-可搬型温度測定設備-007	<ul style="list-style-type: none"> <li>・員数及び外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> <li>・事故対処機能（全対策）</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了まで。	
	可搬型液位測定設備 X-H-可搬型液位測定設備-001 X-H-可搬型液位測定設備-002 X-H-可搬型液位測定設備-003 X-H-可搬型液位測定設備-004 X-H-可搬型液位測定設備-005 X-H-可搬型液位測定設備-006 X-H-可搬型液位測定設備-007 X-H-可搬型液位測定設備-008	<ul style="list-style-type: none"> <li>・員数及び外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> <li>・事故対処機能（全対策）</li> </ul>		
	可搬型密度測定設備 X-H-可搬型密度測定設備-001 X-H-可搬型密度測定設備-002 X-H-可搬型密度測定設備-003 X-H-可搬型密度測定設備-004 X-H-可搬型密度測定設備-005 X-H-可搬型密度測定設備-006 X-H-可搬型密度測定設備-007	<ul style="list-style-type: none"> <li>・員数及び外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> <li>・事故対処機能（全対策）</li> </ul>		
	計装設備用可搬型発電機 X-H-計装設備用可搬型発電機-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故対処機能（全対策）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>
	計装設備用可搬型圧縮空気設備 X-H-計装設備用可搬型圧縮空気設備-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事故対処機能（遅延対策①②）</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>

表 10 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設，事故対処施設）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間
高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	ペーパーレスレコーダー（データ収集装置）	X・H-データ収集装置-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了まで。
	可搬型ダスト・ヨウ素サンプラ	X・H-可搬型ダスト・ヨウ素サンプラ-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
	放射線管理設備用可搬型発電機	X・H-放射線管理設備用可搬型発電機-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	

表 11 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設，事故対処施設）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間	
ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟	水中ポンプ	X-G-水中ポンプ-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策①）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	維持すべき期間
	組立水槽	X-G-組立水槽-001～004	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（全対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がないこと</li> </ul>	
	消防ホース	X-G-消防ホース（屋内用）-001～080	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（全対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がないこと</li> </ul>	
	給水ホース	X-G-給水用ホース（屋内用）-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②A，遅延対策①②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がないこと</li> </ul>	
	可搬型チラー	X-G-可搬型チラー-001 X-G-可搬型チラー-002	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
	可搬型チラー用発電機	X-G-可搬型チラー用発電機-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
	給水ポンプ	X-G-給水ポンプ-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②A，遅延対策①②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
	分岐付ヘッダー	X-G-分岐付ヘッダー-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②A，遅延対策①②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がないこと</li> </ul>	
	コンプレッサー用発電機	X-G-コンプレッサー用発電機-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②A，遅延対策①②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
	コンプレッサー	X-G-コンプレッサー-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②A，遅延対策①②）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
	既設配管接続用フランジ	X-G-既設配管接続用フランジ（OUT）-001 X-G-既設配管接続用フランジ（IN）-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（未然防止対策②B，③）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がないこと</li> </ul>	

高放射性廃液のガラス固化完了まで。



表 12 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設，事故対処施設）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間		
ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟	可搬型温度測定設備	X-G-可搬型温度測定設備-001 X-G-可搬型温度測定設備-002	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（全対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了まで。	
	可搬型液位測定設備	X-G-可搬型液位測定設備-V10 X-G-可搬型液位測定設備-V20 X-G-可搬型液位測定設備-E10 X-G-可搬型液位測定設備-V12 X-G-可搬型液位測定設備-V14	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（全対策）</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>
	可搬型密度測定設備	X-G-可搬型密度測定設備-V10 X-G-可搬型密度測定設備-V20 X-G-可搬型密度測定設備-E10 X-G-可搬型密度測定設備-V12	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能（全対策）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>		
	移動式発電機 1000kVA	X-G-移動式発電機 1000kVA-001 (1号機) X-G-移動式発電機 1000kVA-002 (2号機)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能 (ガラス固化体保管ピットの冷却機能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>周波数及び電圧が正常であること。</li> </ul>		ガラス固化体保管ピットに貯蔵しているガラス固化体の搬出完了（または崩壊熱による発熱量が低減し強制空冷が不要となる時期）まで。
	電源接続盤	VFB3	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能 (ガラス固化体保管ピットの冷却機能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶縁抵抗が正常であること。</li> </ul>		
	電源切替盤	電源切替盤(1) 電源切替盤(2)	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対処機能 (ガラス固化体保管ピットの冷却機能)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>絶縁抵抗が正常であること。</li> </ul>		

表 13 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設，事故対処施設）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間
ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟	可搬型ダスト・ヨウ素サンプラ	X-G-可搬型ダスト・ヨウ素サンプラ-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了まで。
	放射線管理設備用可搬型発電機	X-G-放射線管理設備用可搬型発電機-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	

表 14 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（新規追加施設、事故対処施設）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間
高放射性廃液貯蔵場 (HAW) ・ ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 で共用	不整地運搬車 (ドラム缶運搬用)	X-共-不整地運搬車 (ドラム缶運搬用) - 001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく、設備が正常に作動すること。</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了及びびガラス固化体保管ピットに貯蔵しているガラス固化体の搬出完了（または崩壊熱による発熱量が低減し強制空冷が不要となる時期）まで。
	簡易無線機（屋外用）	X-共-簡易無線機（屋外用）-001～	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観、員数に異常がなく、設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
	可搬型発電機 (通信機器の充電用)	X-共-可搬型発電機 (通信機器の充電用) - 001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく、設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
	組立水槽	X-共-組立水槽-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・員数及びび外観に異常がないこと</li> </ul>	
	可搬型貯水設備	X-共-可搬型貯水設備 26kL-001～0015	<ul style="list-style-type: none"> <li>・員数、外観に異常がないこと</li> <li>・漏えいがないこと</li> </ul>	
	エンジン付きライト	X-共-エンジン付きライト-001～006	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく、設備が正常に作動すること。</li> </ul>	

表 15 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（内容の更新，事故対応施設）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間	
高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	一次系の予備循環ポンプ(152 m <sup>3</sup> /h)	272P3061 272P3062	<ul style="list-style-type: none"> <li>崩壊熱除去機能(冷却水供給機能)</li> <li>事故対応機能(未然防止対策①)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	系統除染が完了するまで。
	冷却水設備プロセス用ポンプ（二次系の送水ポンプ）	272P8160 272P8161	<ul style="list-style-type: none"> <li>崩壊熱除去機能(冷却水供給機能)</li> <li>事故対応機能(未然防止対策①)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ポンプの容量（約 200 m<sup>3</sup>/h）に対応した締切圧力(0.50 MPaGauge)以上であること。</li> </ul>	系統除染が完了するまで。
	エンジン付きポンプ	X・H・エンジン付きポンプ-001 X・H・エンジン付きポンプ-002 X・H・エンジン付きポンプ-003	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対応機能(全対策)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了まで。
	可搬型蒸気供給設備(0.98 MPa)	X・H・可搬型蒸気供給設備-001 X・H・可搬型蒸気供給設備-002	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対応機能(遅延対策①)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
		X・H・可搬型蒸気供給設備用発電機-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対応機能(遅延対策①)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固化完了まで。
		X・H・蒸気用ホース-001 ～004	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対応機能(遅延対策①)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がないこと。</li> </ul>	
		X・H・給水用ホース-001 ～005	<ul style="list-style-type: none"> <li>事故対応機能(遅延対策①)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>員数及び外観に異常がないこと。</li> </ul>	

※ 下線部は内容更新箇所を示す。

表 16 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（内容の更新，事故対処施設）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間
ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟	冷却塔	G88H10 ・崩壊熱除去機能 ・事故対処機能（未然防止対策①）	・冷却塔出口の冷却水流量が 195 m <sup>3</sup> /h 以上であること。	系統除染が完了するまで。
	一次冷却水循環ポンプ	G83P12 ・崩壊熱除去機能（冷却水供給機能） ・事故対処機能（未然防止対策①）	・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。	系統除染が完了するまで。
	二次冷却水循環ポンプ	G83P32 ・崩壊熱除去機能（冷却水供給機能） ・事故対処機能（未然防止対策①）	・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。	系統除染が完了するまで。
	エンジン付きポンプ	X-G-エンジン付きポンプ ブ-001 X-G-エンジン付きポンプ ブ-002 X-G-エンジン付きポンプ ブ-003	・事故対処機能（全対策）	高放射性廃液のガラス固化完了（または崩壊熱による発熱量が低減し強制空冷が不要となる時期）まで。

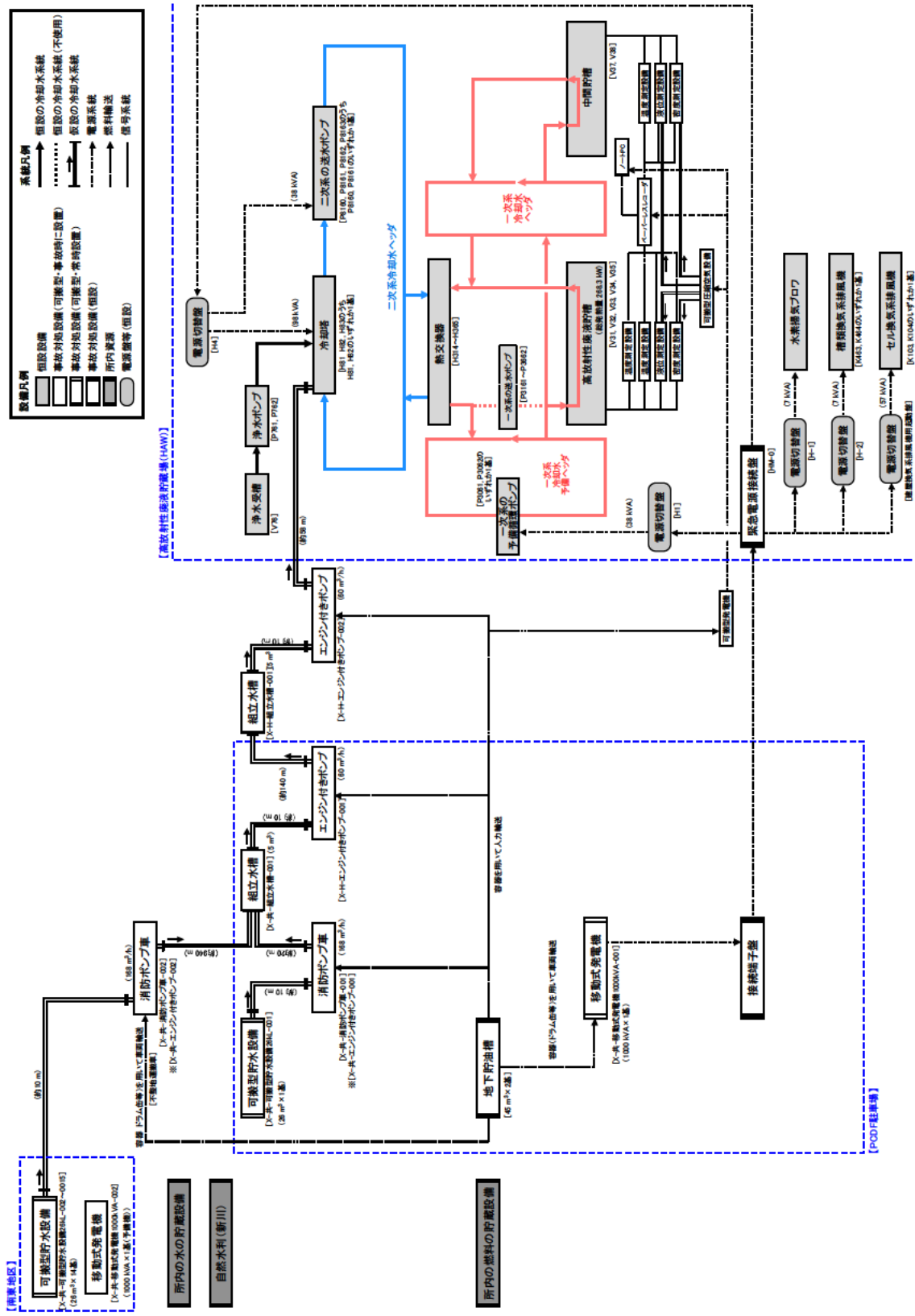
※ 下線部は内容更新箇所を示す。

表 17 安全対策で追加される性能維持施設の維持管理（内容の更新，事故対応施設）

設備名称等		要求される機能	性能	維持すべき期間
高放射性廃液貯蔵場 (HAW)	水槽付き消防ポンプ自 動車 (2.8 m <sup>3</sup> /分 (0.85 MPa))	X・共・消防ポンプ車-001 X・共・消防ポンプ車-002	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固 化完了まで。
	エンジン付きポンプ (1 m <sup>3</sup> /分)	X・共・エンジン付きポン プ-001 X・共・エンジン付きポン プ-002	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 で共用	移動式発電機 1000kVA	X・共・移動式発電機 1000kVA-001 (1号機) X・共・移動式発電機 1000kVA-002 (2号機)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・周波数及び電圧が正常であること。</li> </ul>	高放射性廃液のガラス固 化完了まで。
	重機	X・共・ホイールローダ- 001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	
	油圧ショベル	X・共・油圧ショベル-001	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外観に異常がなく，設備が正常に作動すること。</li> </ul>	

※ 下線部は内容更新箇所を示す。

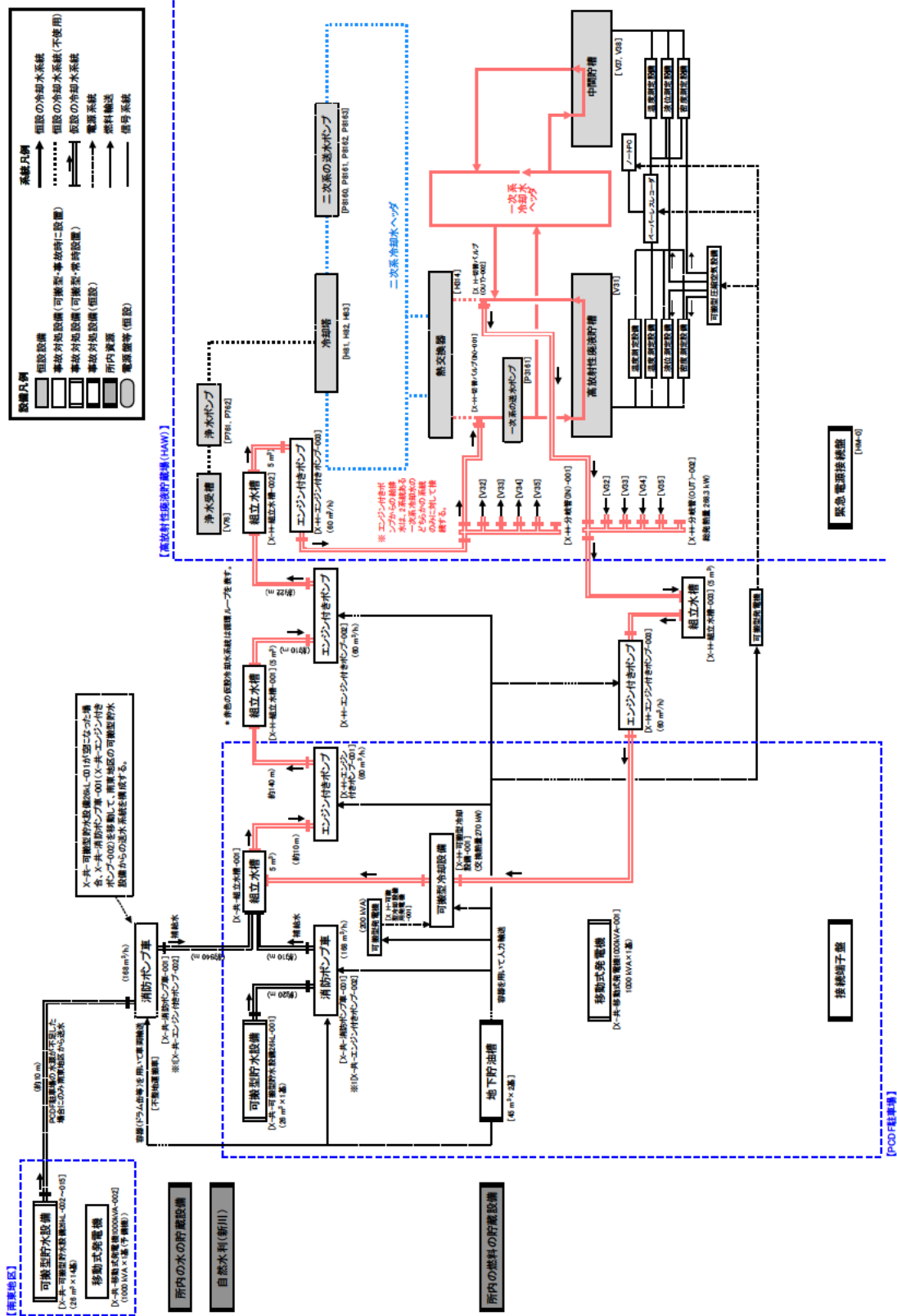




参考図 1 高放射性液体貯蔵場 (HAW) 未然防止対策① 事故対処設備の系統構成図

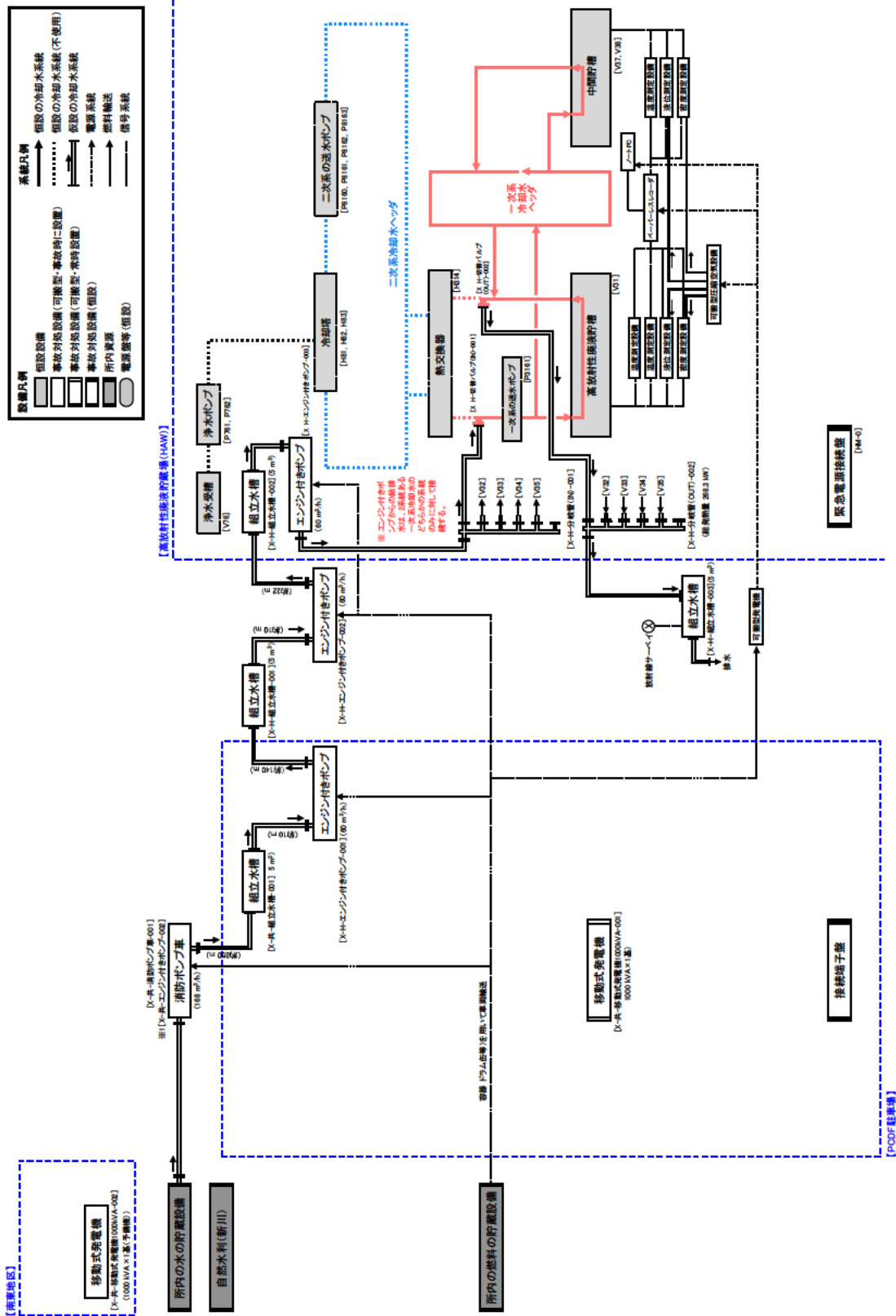
※ 消防ポンプが使用できない場合はエンジン付ポンプで代替する





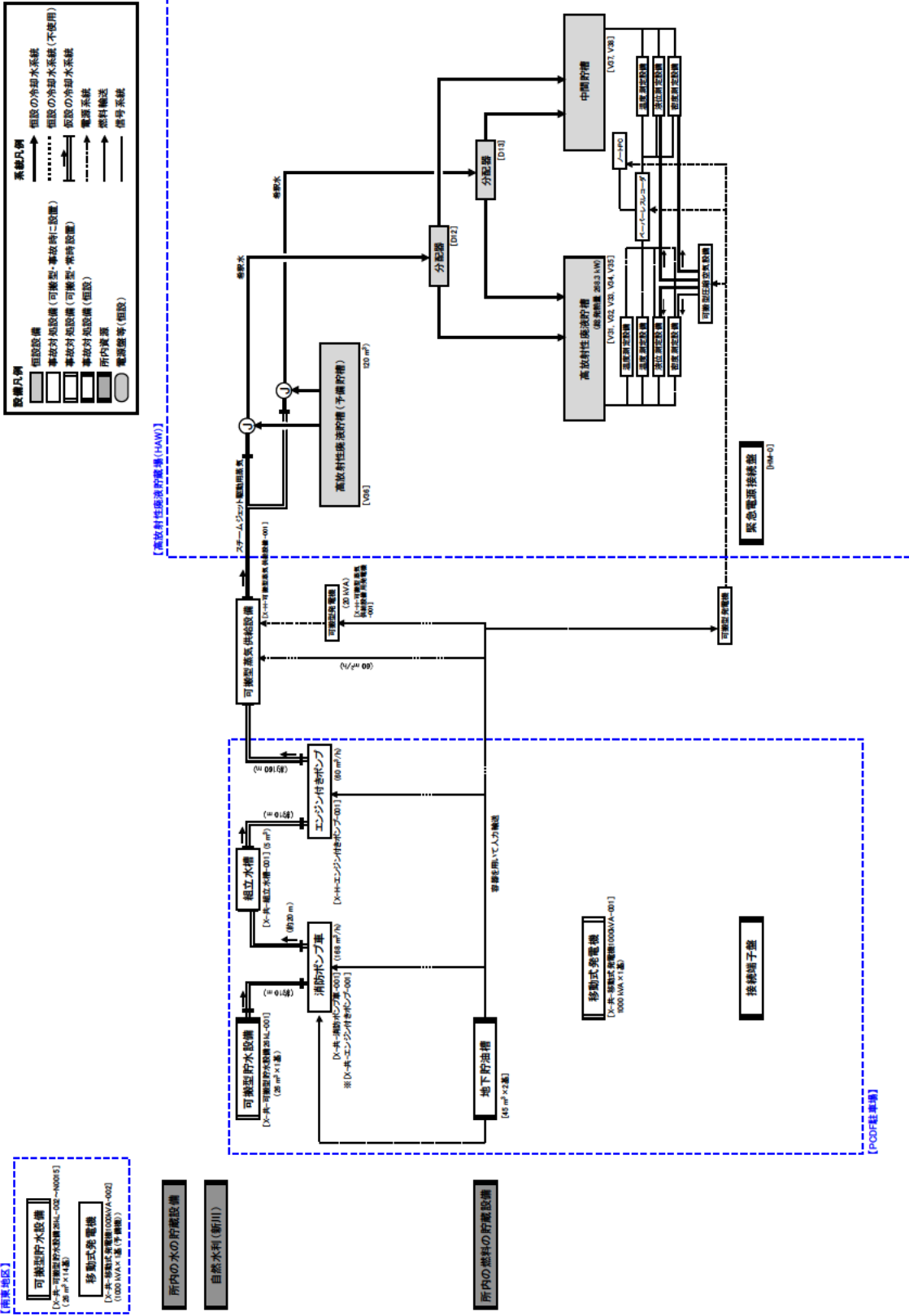
※1: 漏れポンプが使用できない場合はエンジン付きポンプで代替する

参考図 2 高放射性液体貯蔵場 (HAW) 未然防止対策② 事故対処設備の系統構成図



※1: 消防ポンプが使用できない場合はエンジン付きポンプで代替する

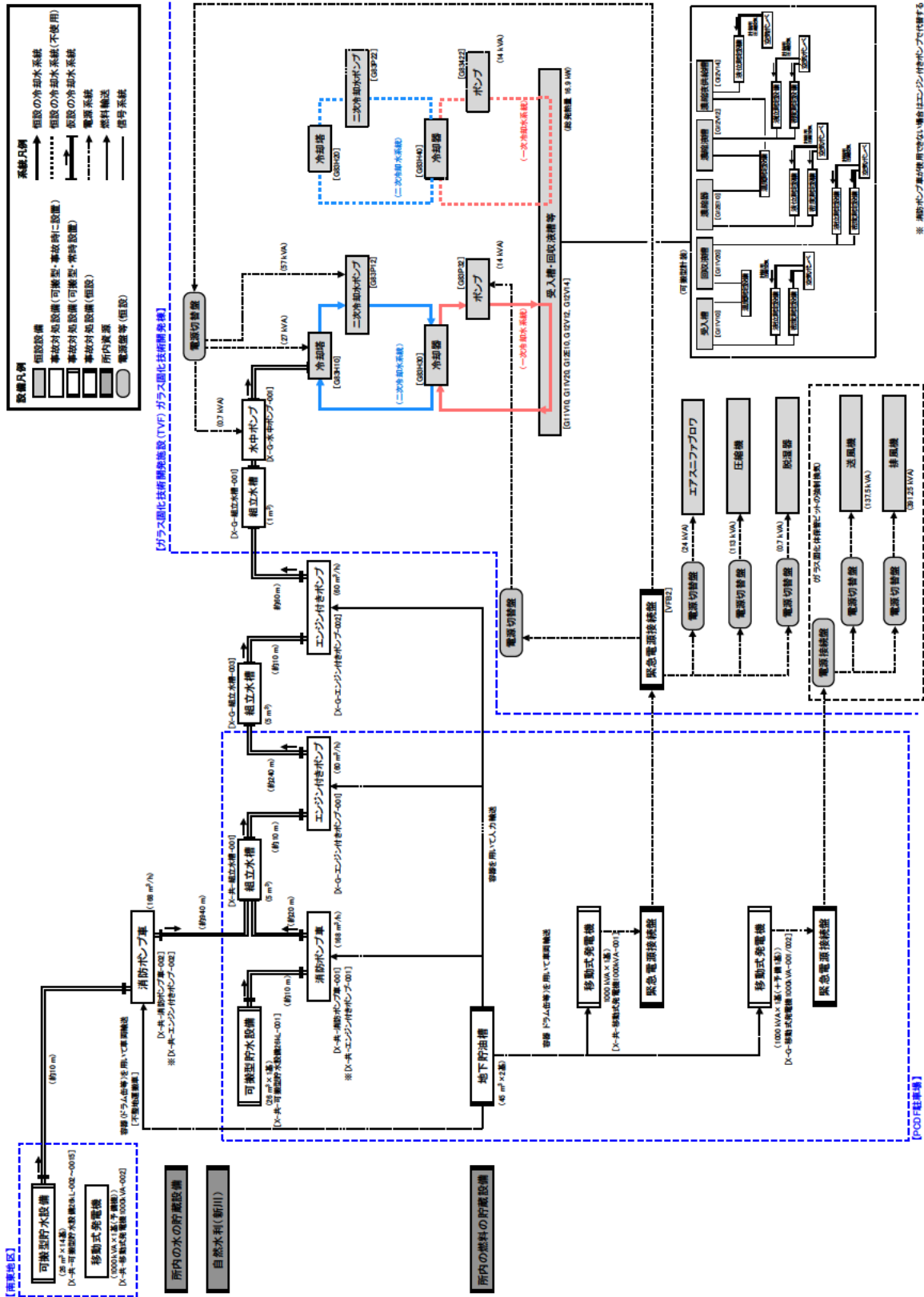
参考図 3 高放射性廃液貯蔵場 (HAW) 未然防止対策③ 事故対応設備の系統構成図



注: 漏れ水が恒設でない場合はエンジン付きポンプで代替する

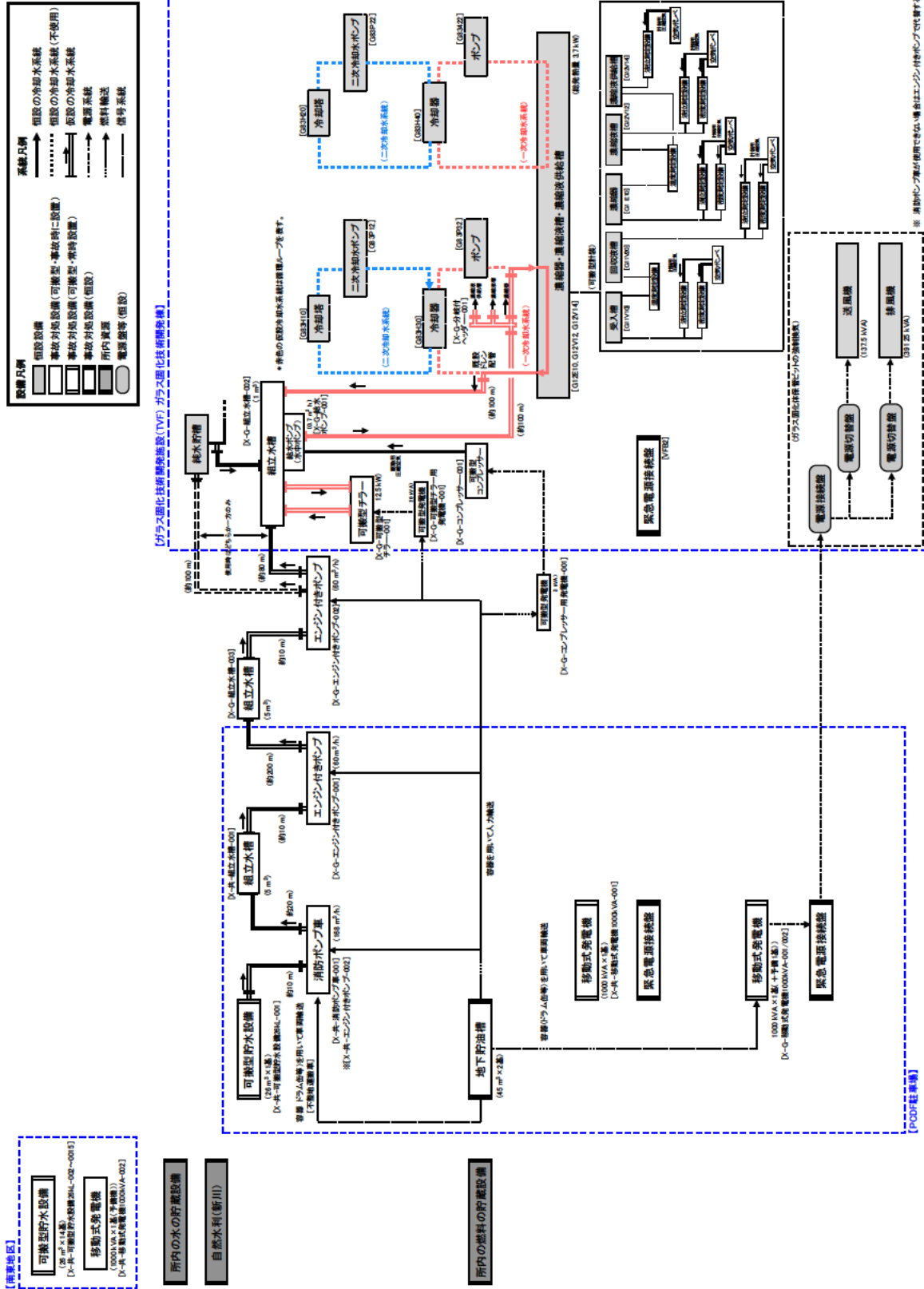
参考図 4 高放射性廃液貯蔵場 (HAW) 遅延対策① 事故対応設備の系統構成図





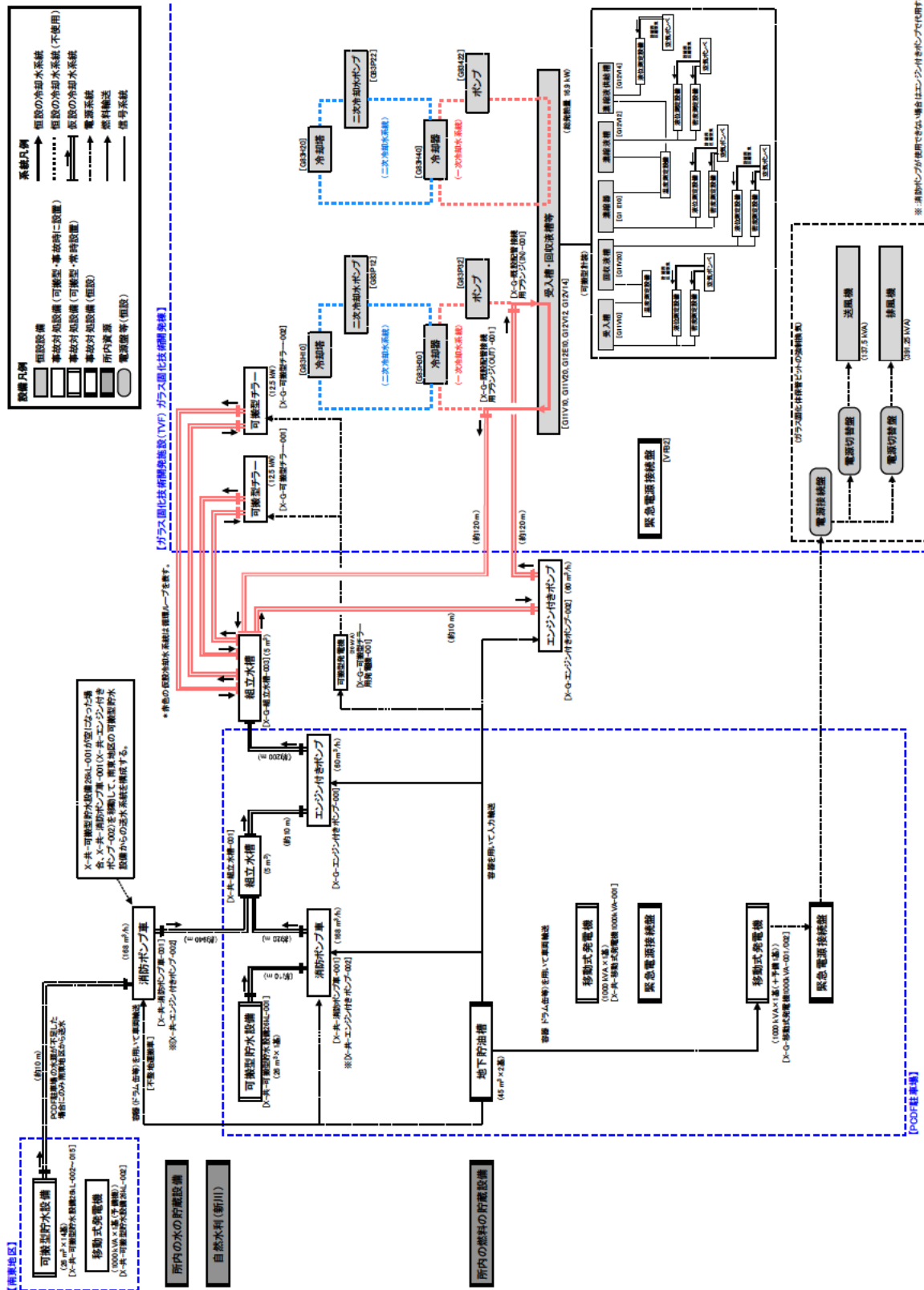
参考図 6 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 未然防止対策① 事故対処設備の系統構成図

※ 消防ポンプ車が使用できない場合はエンジン付きポンプで代替する



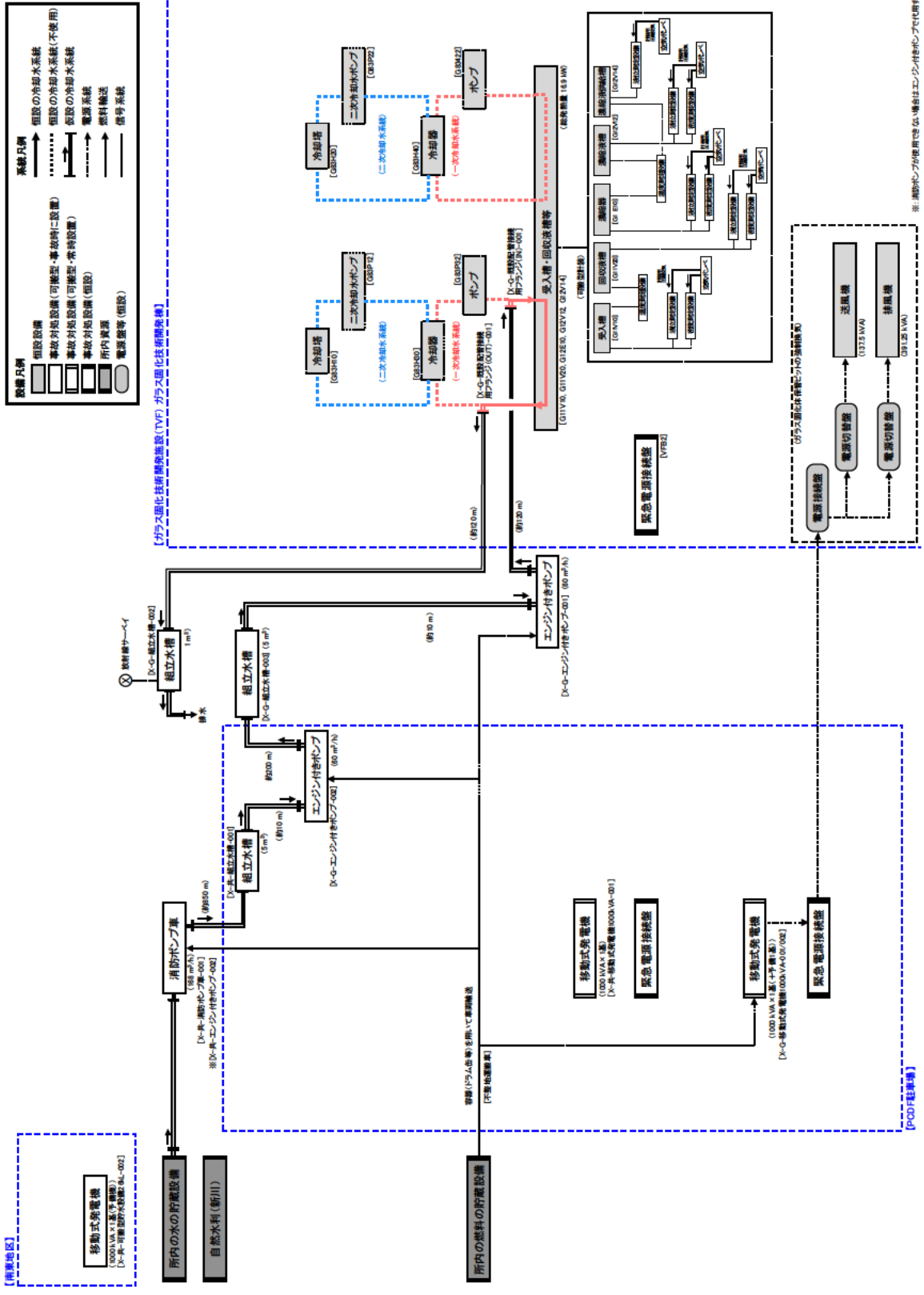
※ 黒部ポンプ室が使用できない場合はエンジン付きポンプで代替する

参考図 7 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 未然防止対策②A 事故対処設備の系統構成図



参考図 8 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 未然防止対策②B 事故対処設備の系統構成図

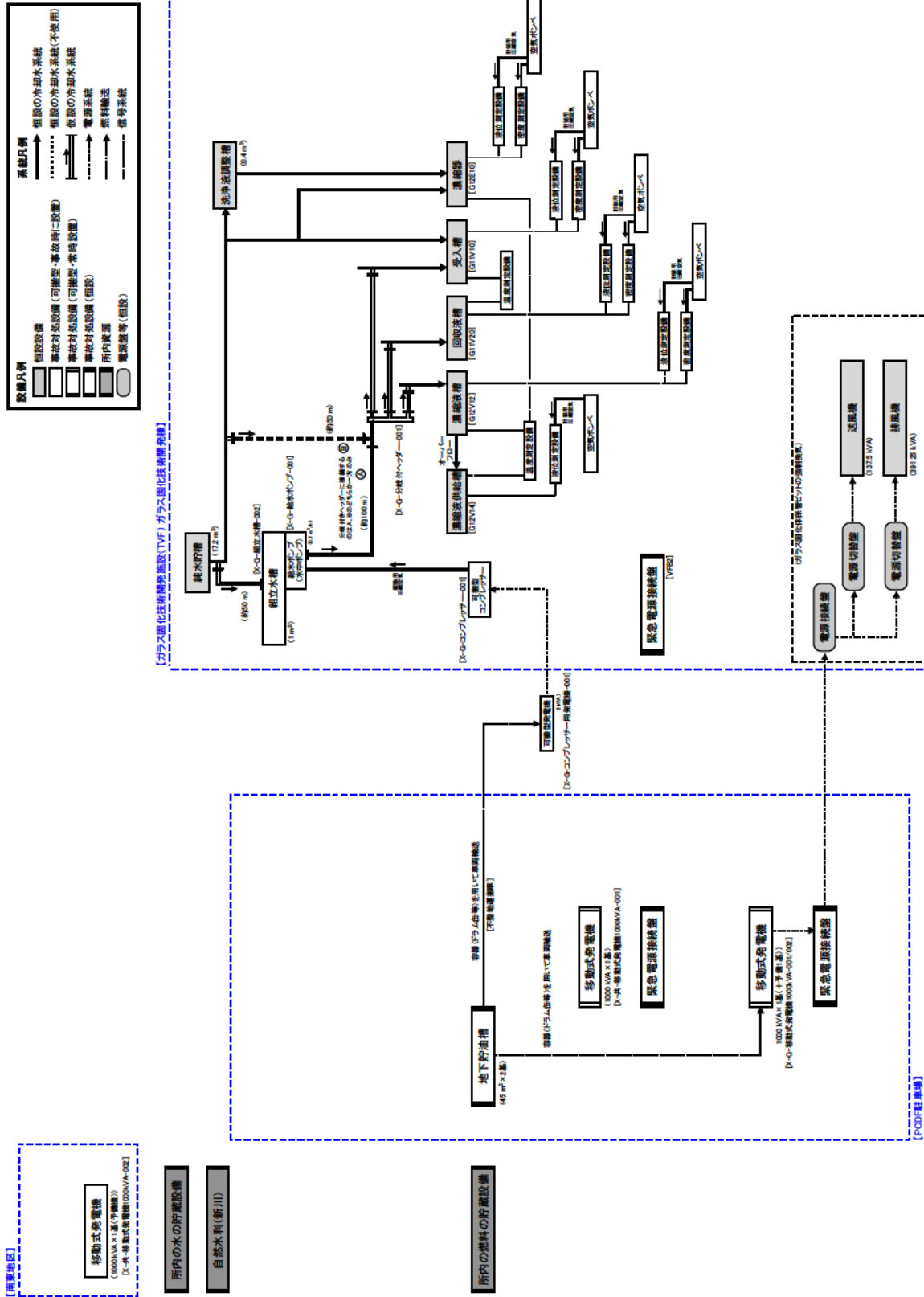
※: 消防ポンプが使用できない場合はエンジン付きポンプで代替する



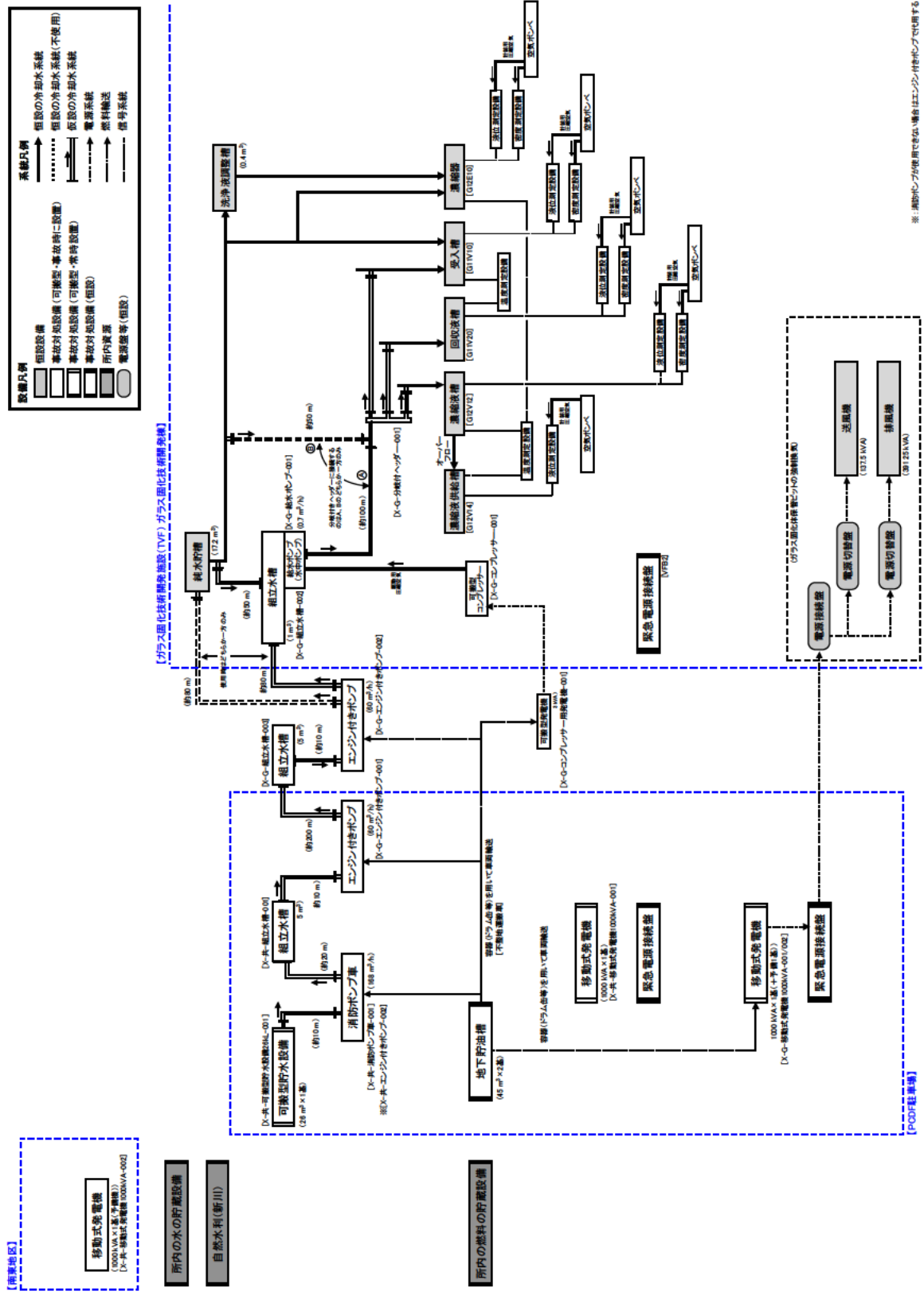
参考図 9 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発施設 未然防止対策③ 事故対応設備の系統構成図

※: 消防ポンプが使用できない場合はエンジン付きポンプで代替する

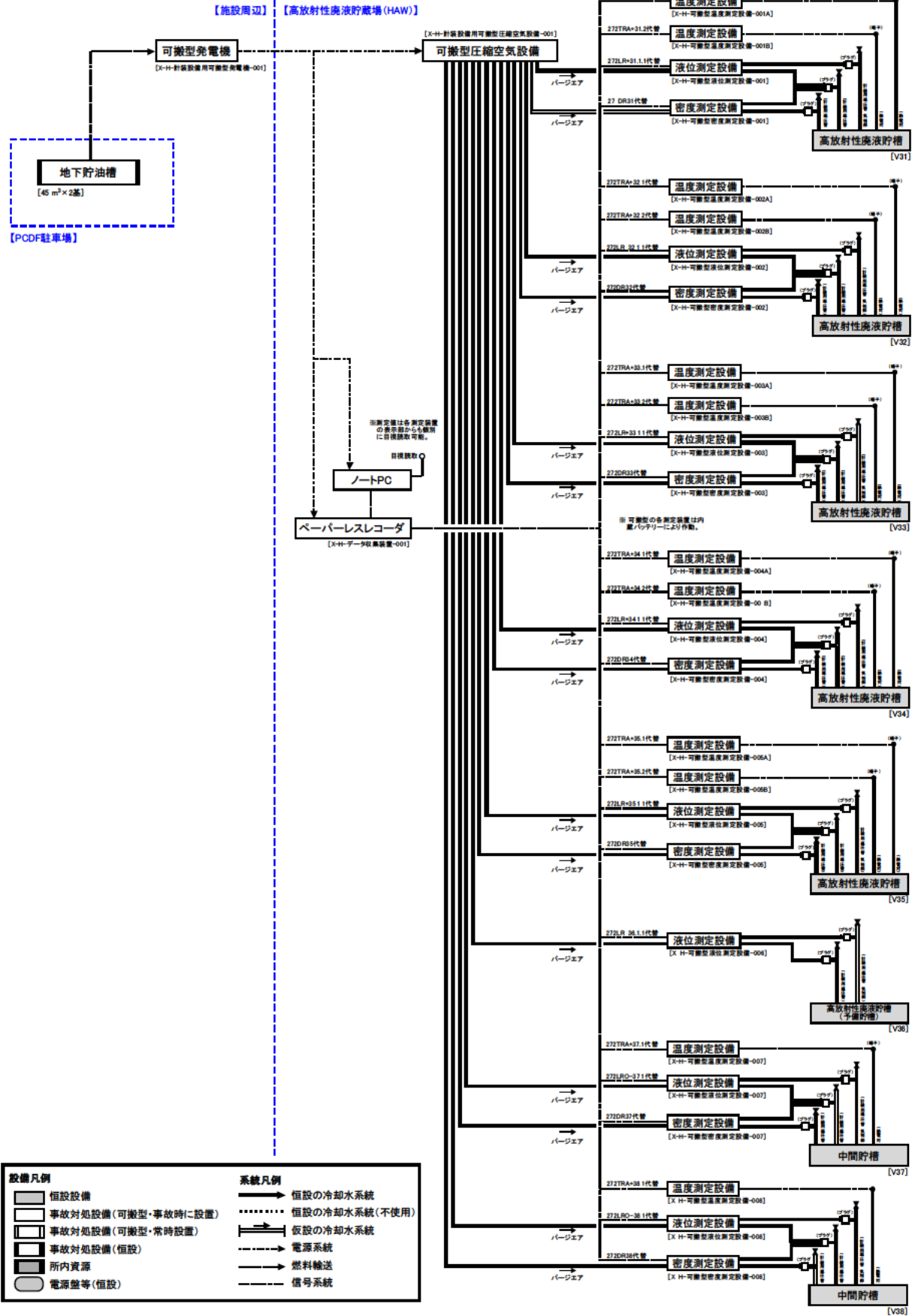




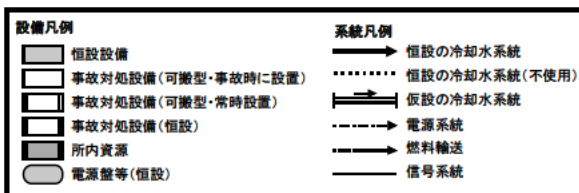
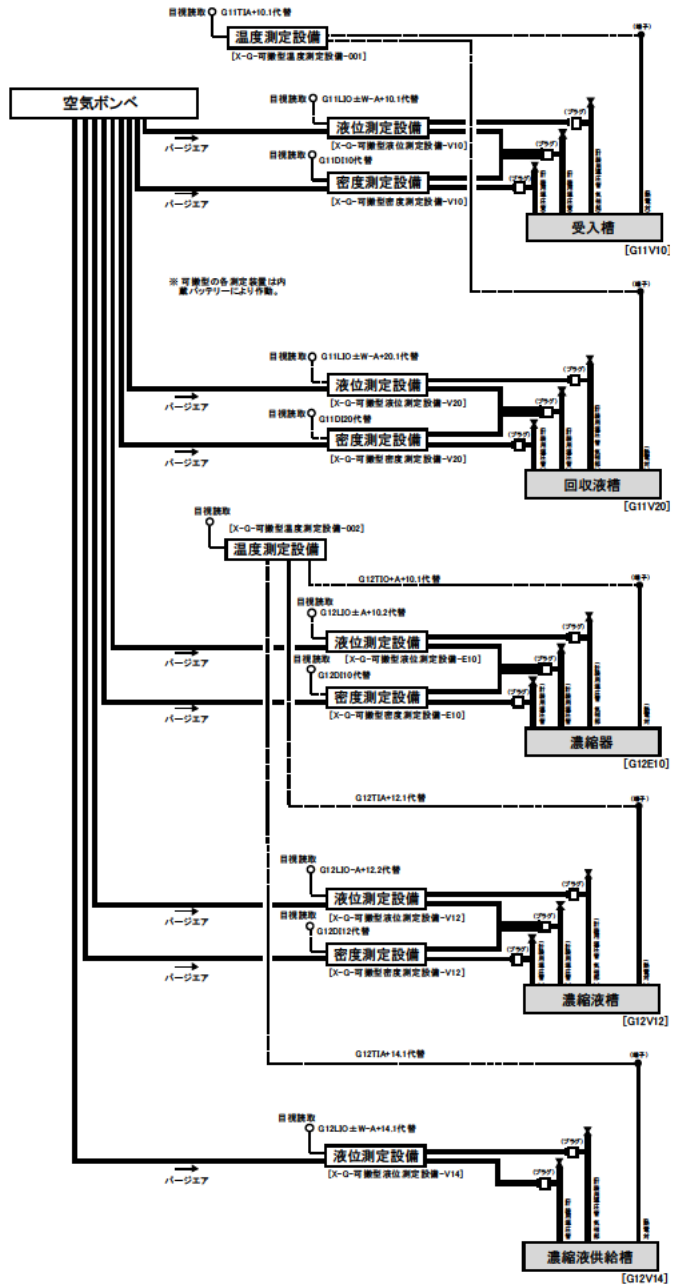
参考図 10 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発 遅延対策① 事故対処設備の系統構成図



参考図 11 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発施設 遅延対策② 事故対処設備の系統構成図



参考図 12 高放射性廃液貯蔵場 (HAW) 事故対処時の計装設備構成図



参考図 13 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟 事故対処時の計装設備構成図

参考表 1 高放射性廃液貯蔵場（HAW）の未然防止対策①に使用する事故対処設備

設備（可搬型設備）	合計数量	機番	使用場所	備考
消防ポンプ車	2	X-共-消防ポンプ車-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。
		X-共-消防ポンプ車-002	南東地区	HAW/TVF共用。
エンジン付きポンプ	2(4)	X-H-エンジン付きポンプ-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。
		X-H-エンジン付きポンプ-002	HAW外廻り	HAW/TVF共用。
		(X-共-エンジン付きポンプ-001)	PCDF駐車場	X-共-消防ポンプ車-001を代用する場合。
		(X-共-エンジン付きポンプ-002)	南東地区	X-共-消防ポンプ車-002を代用する場合。
組立水槽	2	X-共-組立水槽-001	PCDF駐車場	5 m <sup>3</sup> /基。HAW/TVF共用。
		X-H-組立水槽-001	HAW外廻り	5 m <sup>3</sup> /基。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
移動式発電機	1(2)	X-共-移動式発電機1000kVA-001	PCDF駐車場	1000 kVA。
		(X-共-移動式発電機1000kVA-002)	南東地区	1000 kVA。予備機。

※ 合計数量の（）内数値は予備機・代替機を加えた総数。

設備（資源供給設備）	合計数量	機番	設置場所	備考
地下貯油槽	2	-	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。45 m <sup>3</sup> /基。
可搬型貯水設備	15	X-共-可搬型貯水設備26kL-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。26 m <sup>3</sup> /基。
		X-共-可搬型貯水設備26kL-002～015	南東地区	HAW/TVF共用。26 m <sup>3</sup> /基。

※ 合計数量の（）内数値は予備機・代替機を加えた総数。

参考表 2 高放射性廃液貯蔵場（HAW）の未然防止対策②に使用する事故対処設備

設備（可搬型設備）	合計数量	機番	使用場所	備考
消防ポンプ車	1(2)	X-共-消防ポンプ車-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。
		(X-共-消防ポンプ車-002)	南東地区	予備機。HAW/TVF共用。
エンジン付きポンプ	4(5)	X-H-エンジン付きポンプ-001	HAW外廻り	
		X-H-エンジン付きポンプ-002	HAW屋上	
		X-H-エンジン付きポンプ-003	HAW外廻り	
		X-共-エンジン付きポンプ-001	PCDF駐車場	
		(X-共-エンジン付きポンプ-002)	PCDF駐車場	X-共-消防ポンプ車-001を代用する場合。
組立水槽	4	X-共-組立水槽-001	PCDF駐車場	5 m <sup>3</sup> /基。HAW/TVF共用。
		X-H-組立水槽-001	HAW外廻り	5 m <sup>3</sup> /基。
		X-H-組立水槽-002	HAW屋上	5 m <sup>3</sup> /基。
		X-H-組立水槽-003	HAW外廻り	5 m <sup>3</sup> /基。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
分岐管	2	X-H-分岐管（IN）-001	HAW建家内	
		X-H-分岐管（OUT）-002	HAW建家内	
切替バルブ	12	X-H-切替バルブ(IN)-001～006	HAW建家内	1セットで5個（V31～V35分）、予備1個。
		X-H-切替バルブ(OUT)-001～006	HAW建家内	1セットで5個（V31～V35分）、予備1個。
可搬型冷却設備	1(2)	X-H-可搬型冷却設備-001	PCDF駐車場	交換熱量 270 kW。
		X-H-可搬型冷却設備-002	PCDF駐車場	交換熱量 270 kW。
可搬型発電機	1	X-H-可搬型冷却設備用発電機-001	PCDF駐車場	200 kVA。

※ 合計数量の（）内数値は予備機・代替機を加えた総数。

設備（資源供給設備）	合計数量	機番	設置場所	備考
地下貯油槽	2	-	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。45m <sup>3</sup> /基。
可搬型貯水設備	1(15)	X-共-可搬型貯水設備26kL-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。26m <sup>3</sup> /基。
		(X-共-可搬型貯水設備26kL-002～015)	南東地区	予備。26m <sup>3</sup> /基。

※ 合計数量の（）内数値は予備機・代替機を加えた総数。

参考表 3 高放射性廃液貯蔵場 (HAW) の未然防止対策③に使用する事故対処設備

設備 (可搬型設備)	合計数量	機番	使用場所	備考
消防ポンプ車	1	X-共-消防ポンプ車-001	南東地区等	HAW/TVF共用。
エンジン付きポンプ	3(4)	X-H-エンジン付きポンプ-002	HAW外廻り	
		X-H-エンジン付きポンプ-003	HAW屋上	
		X-共-エンジン付きポンプ-001	PCDF駐車場	
		(X-共-エンジン付きポンプ-002)	南東地区等	X-共-消防ポンプ車-001を代用する場合。
組立水槽	4	X-共-組立水槽-001	PCDF駐車場	5 m <sup>3</sup> /基。HAW/TVF共用。
		X-H-組立水槽-001	HAW外廻り	5 m <sup>3</sup> /基。
		X-H-組立水槽-002	HAW屋上	5 m <sup>3</sup> /基。
		X-H-組立水槽-003	HAW外廻り	5 m <sup>3</sup> /基。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
分岐管	2	X-H-分岐管 (IN) -001	HAW建家内	
		X-H-分岐管 (OUT) -002	HAW建家内	
切替バルブ	12	X-H-切替バルブ(IN)-001~006	HAW建家内	1セットで5個 (V31~V35分)、予備1個。
		X-H-切替バルブ(OUT)-001~006	HAW建家内	1セットで5個 (V31~V35分)、予備1個。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

参考表 4 高放射性廃液貯蔵場 (HAW) の遅延対策①に使用する事故対処設備

設備 (可搬型設備)	合計数量	機番	使用場所	備考
消防ポンプ車	1	X-共-消防ポンプ車-001	PCDF駐車場他	HAW/TVF共用。
エンジン付きポンプ	1(2)	X-H-エンジン付きポンプ-001	PCDF駐車場	
		(X-共-エンジン付きポンプ-002)	PCDF駐車場	X-共-消防ポンプ車-001を代用する場合。
組立水槽	1	X-共-組立水槽-001	PCDF駐車場	5 m <sup>3</sup> /基。HAW/TVF共用。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
可搬型蒸気供給設備	1(2)	X-H-可搬型冷却設備-001	HAW外回り	
		X-H-可搬型冷却設備-002	HAW外回り	
可搬型発電機	1	X-H-可搬型蒸気供給設備用発電機-001	HAW外回り	20 kVA。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

設備 (資源供給設備)	合計数量	機番	設置場所	備考
地下貯油槽	2	-	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。45m <sup>3</sup> /基。
可搬型貯水設備	1	X-共-可搬型貯水設備26kL-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。26m <sup>3</sup> /基。

参考表 5 高放射性廃液貯蔵場 (HAW) の遅延対策②に使用する事故対処設備

設備 (可搬型設備)	合計数量	機番	使用場所	備考
消防ポンプ車	1	X-共-消防ポンプ車-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。
エンジン付きポンプ	2(3)	X-H-エンジン付きポンプ-001	PCDF駐車場	
		X-H-エンジン付きポンプ-002	HAW外回り	
		(X-共-エンジン付きポンプ-002)	PCDF駐車場	X-共-消防ポンプ車-001を代用する場合。
組立水槽	2	X-共-組立水槽-001	PCDF駐車場	5 m <sup>3</sup> /基。HAW/TVF共用。
		X-H-組立水槽-001	HAW外回り	5 m <sup>3</sup> /基。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
二又分岐管	1	X-H-二又分岐管-001		

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

設備 (資源供給設備)	合計数量	機番	設置場所	備考
地下貯油槽	2	-	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。45m <sup>3</sup> /基。

参考表 6 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟の  
未然防止対策①に使用する事故対処設備

設備 (可搬型設備)	合計数量	機番	使用場所	備考
消防ポンプ車	2	X-共-消防ポンプ車-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。
		X-共-消防ポンプ車-002	南東地区	HAW/TVF共用。
エンジン付きポンプ	2(4)	X-G-エンジン付きポンプ-001	PCDF駐車場	
		X-G-エンジン付きポンプ-002	TVF外廻り	
		(X-共-エンジン付きポンプ-001)	PCDF駐車場	X-共-消防ポンプ車-001を代用する場合。
		(X-共-エンジン付きポンプ-002)	南東地区	X-共-消防ポンプ車-002を代用する場合。
水中ポンプ	1	X-G-水中ポンプ-001	TVF屋上	
組立水槽	3	X-共-組立水槽-001	PCDF駐車場	5 m <sup>3</sup> /基。HAW/TVF共用。
		X-G-組立水槽-001	TVF屋上	1 m <sup>3</sup> /基。
		X-G-組立水槽-003	TVF外廻り	5 m <sup>3</sup> /基。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
移動式発電機	2(4)	X-共-移動式発電機1000kVA-001	PCDF駐車場	1000 kVA。
		(X-共-移動式発電機1000kVA-002)	南東地区	1000 kVA。予備機。
		X-G-移動式発電機1000kVA-001	PCDF駐車場	1000 kVA。保管ビット冷却用。
		(X-G-移動式発電機1000kVA-002)	PCDF駐車場	1000 kVA。保管ビット冷却用。予備機。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

設備 (資源供給設備)	合計数量	機番	設置場所	備考
地下貯油槽	2	-	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。45 m <sup>3</sup> /基。
可搬型貯水設備	15	X-共-可搬型貯水設備26kL-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。26 m <sup>3</sup> /基。
		X-共-可搬型貯水設備26kL-002~015	南東地区	HAW/TVF共用。26 m <sup>3</sup> /基。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

参考表 7 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟の  
未然防止対策②Aに使用する事故対処設備

設備 (可搬型設備)	合計数量	機番	使用場所	備考
消防ポンプ車	1(2)	X-共-消防ポンプ車-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。
		(X-共-消防ポンプ車-002)	南東地区	予備機。HAW/TVF共用。
エンジン付きポンプ	2(3)	X-G-エンジン付きポンプ-001	PCDF駐車場	
		X-G-エンジン付きポンプ-002	TVF外回り	
		(X-共-エンジン付きポンプ-002)	PCDF駐車場	X-共-消防ポンプ車-001を代用する場合。
給水ポンプ	1	X-G-給水ポンプ-001	TVF屋上	水中ポンプ。
可搬型コンプレッサー	1	X-G-コンプレッサー-001	TVF建家内	水中ポンプ駆動用圧縮空気供給。
組立水槽	3	X-共-組立水槽-001	PCDF駐車場	5 m <sup>3</sup> /基。HAW/TVF共用。
		X-G-組立水槽-002	TVF屋上	1 m <sup>3</sup> /基。
		X-G-組立水槽-003	TVF外廻り	5 m <sup>3</sup> /基。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
分岐付ヘッダー	1	X-G-分岐付ヘッダー-001	TVF建家内	
可搬型チラー	1	X-G-可搬型チラー-001	TVF建家内	交換熱量 12.5 kW。
可搬型発電機	2	X-G-可搬型チラー用発電機-001	TVF建家内	20 kVA。
		X-G-コンプレッサー用発電機-001	TVF外回り	3 kVA。
移動式発電機	1(2)	X-G-移動式発電機1000kVA-001	PCDF駐車場	1000 kVA。保管ビット冷却用。
		(X-G-移動式発電機1000kVA-002)	PCDF駐車場	1000 kVA。保管ビット冷却用。予備機。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

設備 (資源供給設備)	合計数量	機番	設置場所	備考
地下貯油槽	2	-	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。45m <sup>3</sup> /基。
可搬型貯水設備	1	X-共-可搬型貯水設備26kL-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。26m <sup>3</sup> /基。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

参考表 8 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟の  
未然防止対策②B に使用する事故対処設備

設備 (可搬型設備)	合計数量	機番	使用場所	備考
消防ポンプ車	1(2)	X-共-消防ポンプ車-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。
		(X-共-消防ポンプ車-002)	南東地区	予備機。HAW/TVF共用。
エンジン付きポンプ	2(3)	X-G-エンジン付きポンプ-001	PCDF駐車場	
		X-G-エンジン付きポンプ-002	TVF外回り	
		(X-共-エンジン付きポンプ-002)	PCDF駐車場	X-共-消防ポンプ車-001を代用する場合。
組立水槽	2	X-共-組立水槽-001	PCDF駐車場	5 m <sup>3</sup> /基。HAW/TVF共用。
		X-G-組立水槽-003	TVF外廻り	5 m <sup>3</sup> /基。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
配管接続用フランジ	2	X-G-配管接続用フランジ(IN)-001	TVF建家内	
		X-G-配管接続用フランジ(OUT)-001	TVF建家内	
可搬型チラー	2	X-G-可搬型チラー-001	TVF建家内	交換熱量 12.5 kW。
		X-G-可搬型チラー-002	TVF建家内	交換熱量 12.5 kW。
可搬型発電機	1	X-G-可搬型チラー用発電機-001	TVF建家内	20 kVA。
移動式発電機	1(2)	X-G-移動式発電機1000kVA-001	PCDF駐車場	1000 kVA。保管ビット冷却用。
		(X-G-移動式発電機1000kVA-002)	PCDF駐車場	1000 kVA。保管ビット冷却用。予備機。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

設備 (資源供給設備)	合計数量	機番	設置場所	備考
地下貯油槽	2	-	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。45m <sup>3</sup> /基。
可搬型貯水設備	1(15)	X-共-可搬型貯水設備26kL-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。26m <sup>3</sup> /基。
		(X-共-可搬型貯水設備26kL-002~015)	南東地区	予備。26m <sup>3</sup> /基。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

参考表 9 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟の  
未然防止対策③に使用する事故対処設備

設備 (可搬型設備)	合計数量	機番	使用場所	備考
消防ポンプ車	1	X-共-消防ポンプ車-001	南東地区等	HAW/TVF共用。
エンジン付きポンプ	2(3)	X-G-エンジン付きポンプ-001	TVF外回り	
		X-G-エンジン付きポンプ-002	PCDF駐車場	
		(X-共-エンジン付きポンプ-002)	南東地区等	X-共-消防ポンプ車-001を代用する場合。
組立水槽	3	X-共-組立水槽-001	PCDF駐車場	5 m <sup>3</sup> /基。HAW/TVF共用。
		X-G-組立水槽-002	TVF外廻り	1 m <sup>3</sup> /基。
		X-G-組立水槽-003	TVF外廻り	5 m <sup>3</sup> /基。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
配管接続用フランジ	2	X-G-配管接続用フランジ(IN)-001	TVF建家内	
		X-G-配管接続用フランジ(OUT)-001	TVF建家内	
移動式発電機	1(2)	X-G-移動式発電機1000kVA-001	PCDF駐車場	1000 kVA。保管ビット冷却用。
		(X-G-移動式発電機1000kVA-002)	PCDF駐車場	1000 kVA。保管ビット冷却用。予備機。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。



参考表 10 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟の  
遅延対策①に使用する事故対処設備

設備 (可搬型設備)	合計数量	機番	使用場所	備考
給水ポンプ	1	X-G-給水ポンプ-001	TVF建家内	水中ポンプ方式。
組立水槽	1	X-G-組立水槽-002	TVF建家内	1 m <sup>3</sup> /基。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
分岐付ヘッダー	1	X-G-分岐付ヘッダー-001	TVF建家内	
可搬型コンプレッサー	1	X-G-コンプレッサー-001	TVF建家内	給水ポンプ駆動用圧縮空気供給。
可搬型発電機	1	X-G-コンプレッサー用発電機-001	TVF外回り	3 kVA。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

設備 (資源供給設備)	合計数量	機番	設置場所	備考
地下貯油槽	2	-	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。45m <sup>3</sup> /基。

参考表 11 ガラス固化技術開発施設 (TVF) ガラス固化技術開発棟の  
遅延対策②に使用する事故対処設備

設備 (可搬型設備)	合計数量	機番	使用場所	備考
消防ポンプ車	1	X-共-消防ポンプ車-001	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。
エンジン付きポンプ	2(3)	X-G-エンジン付きポンプ-001	PCDF駐車場	
		X-G-エンジン付きポンプ-002	TVF外回り	
		(X-共-エンジン付きポンプ-002)	PCDF駐車場	X-共-消防ポンプ車-001を代用する場合。
給水ポンプ	1	X-G-給水ポンプ-001	TVF建家内	水中ポンプ方式。
分岐付ヘッダー	1	X-G-分岐付ヘッダー-001	TVF建家内	
組立水槽	3	X-共-組立水槽-001	PCDF駐車場	5 m <sup>3</sup> /基。HAW/TVF共用。
		X-G-組立水槽-002	TVF建家内	1 m <sup>3</sup> /基。
		X-G-組立水槽-003	TVF外回り	5 m <sup>3</sup> /基。
不整地運搬車	1	X-共-不整地運搬車-001	所内	燃料運搬用。HAW/TVF共用。
可搬型コンプレッサー	1	X-G-コンプレッサー-001	TVF建家内	給水ポンプ駆動用圧縮空気供給。
可搬型発電機	1	X-G-コンプレッサー用発電機-001	TVF外回り	3 kVA。

※ 合計数量の ( )内数値は予備機・代替機を加えた総数。

設備 (資源供給設備)	合計数量	機番	設置場所	備考
地下貯油槽	2	-	PCDF駐車場	HAW/TVF共用。45m <sup>3</sup> /基。

参考表 12 高放射性廃液貯蔵場（HAW）の事故対処時の計装設備

設備（可搬型設備）	合計数量	機番	使用場所	備考
可搬型温度測定設備	12	X-H-可搬型温度測定設備-001A	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-001B	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-002A	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-002B	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-003A	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-003B	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-004A	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-004B	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-005A	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-005B	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-007	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型温度測定設備-008	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
可搬型液位測定設備	8	X-H-可搬型液位測定設備-001	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型液位測定設備-002	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型液位測定設備-003	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型液位測定設備-004	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型液位測定設備-005	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型液位測定設備-006	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型液位測定設備-007	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型液位測定設備-008	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
可搬型密度測定設備	7	X-H-可搬型密度測定設備-001	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型密度測定設備-002	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型密度測定設備-003	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型密度測定設備-004	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型密度測定設備-005	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型密度測定設備-007	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-H-可搬型密度測定設備-008	HAW建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		ペーパーレスレコーダ	1	X-H-データ収集装置-001
可搬型圧縮空気設備	1	X-H-計装設備用可搬型圧縮空気設備-001	HAW建家内	液位測定設備、密度測定設備用バージェア供給。
可搬型発電機	1	X-H-計装設備用可搬型発電機-001	HAW外回り	

参考表 13 ガラス固化技術開発施設（TVF）ガラス固化技術開発棟の事故対処時の計装設備

設備（可搬型設備）	合計数量	機番	使用場所	備考
可搬型温度測定設備	2	X-G-可搬型温度測定設備-001	TVF建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-G-可搬型温度測定設備-002	TVF建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
可搬型液位測定設備	5	X-G-可搬型液位測定設備-V10	TVF建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-G-可搬型液位測定設備-V20	TVF建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-G-可搬型液位測定設備-E10	TVF建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-G-可搬型液位測定設備-V12	TVF建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
可搬型密度測定設備	4	X-G-可搬型密度測定設備-V10	TVF建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-G-可搬型密度測定設備-V20	TVF建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-G-可搬型密度測定設備-E10	TVF建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。
		X-G-可搬型密度測定設備-V12	TVF建家内	バッテリー内蔵。表示機能付き。

参考表 14 各対策毎の事故対処設備（可搬型設備、資源供給設備）の組み合わせ

設備	設備（可搬型設備）			高放射性廃液貯蔵場（HAW）			ガラス固化技術開発施設（TVF）			ガラス固化技術開発施設		
	未燃①	未燃②	未燃③	未燃①	未燃②	未燃③	未燃①	未燃②	未燃③	未燃①	未燃②	未燃③
設備												
設備												
消防ポンプ車	X-共-消防ポンプ車-001	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）
エンジン付きポンプ	X-共-エンジン付きポンプ-001	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）
	X-共-エンジン付きポンプ-002	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）	○（共用）
	X-H-エンジン付きポンプ-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-H-エンジン付きポンプ-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-H-エンジン付きポンプ-003	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-エンジン付きポンプ-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-エンジン付きポンプ-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-エンジン付きポンプ-003	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
水中ポンプ	X-G-水中ポンプ-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
給水ポンプ	X-G-給水ポンプ-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
組立水櫃	X-共-組立水櫃-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-H-組立水櫃-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-H-組立水櫃-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-H-組立水櫃-003	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-組立水櫃-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-組立水櫃-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-組立水櫃-003	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-組立水櫃-004	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
不整地運搬車	X-共-不整地運搬車-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
分岐管	X-H-分岐管（IN）-001~006	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-H-分岐管（OUT）-001~006	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
切替バルブ	X-H-切替バルブ（IN）-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-H-切替バルブ（OUT）-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
二又分岐管	X-H-二又分岐管-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
分岐付ヘッダー	X-G-分岐付ヘッダー-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
配管接続用フランジ	X-G-配管接続用フランジ（IN）-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-配管接続用フランジ（OUT）-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
移動式発電機	X-共-移動式発電機1000kVA-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-共-移動式発電機1000kVA-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-移動式発電機1000kVA-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-移動式発電機1000kVA-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可搬型冷却設備	X-H-可搬型冷却設備-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-H-可搬型冷却設備-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可搬型ラダー	X-G-可搬型ラダー-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-可搬型ラダー-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可搬型発電機	X-H-可搬型冷却設備用発電機-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-H-可搬型蒸気供給設備用発電機-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-可搬型ラダー用発電機-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-G-コンプレッサー用発電機-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可搬型蒸気供給設備	X-H-可搬型冷却設備-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-H-可搬型冷却設備-002	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
可搬型コンプレッサー	X-G-コンプレッサー-001	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

設備	高放射性廃液貯蔵場（HAW）			ガラス固化技術開発施設（TVF）			ガラス固化技術開発施設		
	未燃①	未燃②	未燃③	未燃①	未燃②	未燃③	未燃①	未燃②	未燃③
設備									
設備									
地下貯蔵槽									
可搬型貯水設備	X-共-可搬型貯水設備26kL-001	○	○	○	○	○	○	○	○
	X-共-可搬型貯水設備26kL-002~015	○	○	○	○	○	○	○	○



参考図 14 高放射性廃液貯蔵場（HAW）3階の防護板等の設置個所



参考図 15 高放射性廃液貯蔵場（HAW）4階の防護板等の設置個所



参考図 16 ガラス固化技術開発施設開発棟（TVF）2階の防護板等の設置個所



参考図 17 ガラス固化技術開発施設開発棟（TVF）3階の防護板等の設置個所